

FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks

Enterprise モデル (VMware, ブレードタイプ)

ご使用上の留意・注意事項 / ドキュメント修正事項

FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks Enterprise モデル (VMware, ブレードタイプ) (以降 Cloud Ready Blocks Enterprise) に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

また、Cloud Ready Blocks Enterprise のマニュアルの内容に修正事項がございますので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、対象となるドキュメントをご覧になる際は、下記に示します内容をあわせてお読みくださいますようお願いいたします。

2017 年 7 月
富士通株式会社

■ ご使用上の留意・注意事項

1. ServerView Infrastructure Manager に関する制限事項

メンテナンス支援機能を使用したファームウェアのアップデートについては、サーバ (PRIMERGY RX200 S8) にはご使用いただけません。サーバ (PRIMERGY RX200 S8) のファームウェアのアップデートについては、サーバのファームウェアアップデート方法に従い実施をお願いいたします。なお、メンテナンス支援機能を使用したファームウェアのアップデートをご使用いただけるようになりましたら、後述の弊社「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks」ページ、または、SupportDesk-Web の製品ページでお知らせいたします。

※以下の製品の組み合わせで問題が解決されています。
Infrastructure Manager 1.2.0.c 以降
ServerView Update DVD V11.15.01 以降

■ ドキュメント修正事項

1. 「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks Enterprise Model (VMware ブレードサーバタイプ) 利用ガイド」への修正事項について

(1) 「第 6 章 運用」に以下の節を追加いたします。

6.2 ファームウェアのアップデート

6.2.1 適用可能なファームウェアおよびソフトウェアの版数

本製品は仮想化基盤およびプライベートクラウド基盤を構成するために必要な装置およびソフトウェアを構築した状態で出荷しています。このため、運用開始後も本製品における動作の互換性を保つため、適用可能なファームウェアおよびソフトウェアの情報公開しております。本製品に適用可能な版数については、以下の弊社情報公開サイトのいずれかよりご確認ください。

- SupportDesk-Web の製品ページ

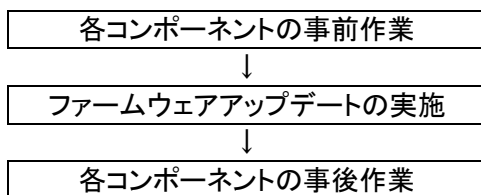
<http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/>

- 「FUJITSU Integrated System」ページ(以下 URL)の「本商品をご使用中のお客様」-「ダウンロード」

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/integrated-systems/primeflex-cloud/>

6.2.2 ファームウェア適用の流れ

ファームウェアアップデートをする場合、ファームウェアアップデートの前後に作業が必要になる場合があります。



各コンポーネントの作業概要に従い、作業を実施してください。

表 各コンポーネントの事前、事後作業参照先(ファームウェアアップデート)

コンポーネント名	対象機器	参照先	作業概要
コンバージドファブリックスイッチ [CFX2000R]	—	—	該当作業なし
PRIMERGY BX900 S2	マネジメントブレード	—	該当作業なし
	コンバージドファブリックスイッチブレード (10 Gbps 18/8+2)	—	
	ファイバーチャネルスイッチブレード (8 Gbps 18/8)	7.5.3	構成情報のバックアップ
PRIMERGY RX200 S8	—	7.3.2	対象サーバの切り離しと組み込み 「該当サーバの保守作業」をファームウェアのアップデート作業に読み替えてください
PRIMERGY BX924 S4	—		
ETERNUS DX100 S3/ ETERNUS DX200 S3	—	7.3.3	非活性で実施する場合のみ、システムの停止と起動

重要

- スイッチブレードは 1 台ずつファームウェアのアップデートを実施してください。
Cloud Ready Blocks はスイッチブレードを 2 台使用し、ネットワークの冗長構成を確保しています。メンテナンス支援機能を使用しスイッチブレードのファームウェアアップデートを 2 台同時に行いますと、ネットワークが切断され、ファームウェアアップデートに失敗します。
- ファームウェアのアップデートを実施する際は、必ず管理サーバのどちらかを起動した状態で実施します。インフラ管理 VM が起動していない状態ではファームウェアのアップデートは実施できません。

(2) 「7 章 保守」における以下の文章を追加/訂正いたします。

- 「7.4.3 コンバージドファブリックスイッチ／コンバージドファブリックス」の「**■vSphere Client による管理サーバ／業務サーバの対象 Ethernet ポート無効化／有効化手順**」において、「管理サーバ」が対象の場合、以下の手順に読み替えて実施してください。

1. vSphere Client から仮想化管理 VM にログインします。

表 7.10 接続情報

項目	入力値
IP アドレス／名前	仮想化管理用仮想マシンの IP アドレス
ユーザー名	administrator
パスワード	管理者パスワード

2. vCenter Server 管理の [警告] 画面が表示された場合、[OK] ボタンをクリックします。
3. [表示] - [インベントリ] - [ホストおよびクラスタ] を選択します。
4. 左側ツリーから対象サーバを選択し、[構成] タブを選択します。
5. [ハードウェアメニュー] から [ネットワーク] を選択します。
6. [vSwitch0] のプロパティをクリックします。
7. [vSwitch]を選択し、[編集] をクリックします。
8. [NIC チーミング] のタブを選択し、アダプター名を選択します。
管理サーバの CNA カードのポート 0 の場合 :vmnic2
管理サーバの CNA カードのポート 1 の場合 :vmnic3
9. 無効化する場合は [下へ移動] をクリックし [未使用アダプタ] に移動します。有効化する場合は、[上へ移動] をクリックし [有効なアダプタ] に移動します。
10. [OK] ボタンをクリックします。
すべての管理サーバに対して、手順 1～手順 10 を繰り返します。

- 「7.4.3 コンバージドファブリックスイッチ／コンバージドファブリックスイッチブレード」の「**■部品交換後の作業**」の末尾に以下を追記いたします。

シリアル番号または MAC アドレスが変更された場合、ServerView Infrastructure Manager を設定します。『FUJITSU Software ServerView Suite ServerView Infrastructure Manager V1.2 ユーザーマニュアル(ファシリティ管理機能編)』の[5.1 Facility Manager 画面]を参照し、機器プロパティの編集を実施してください。

- 「7.4.4 ファイバーチャネルスイッチブレード」の「**■部品交換後の作業**」の手順 2.として以下を追記いたします。

2. シリアル番号または MAC アドレスが変更された場合、ServerView Infrastructure Manager を設定します。『FUJITSU Software ServerView Suite ServerView Infrastructure Manager V1.2 ユーザーマニュアル(ファシリティ管理機能編)』の[5.1 Facility Manager 画面]を参照し、機器プロパティの編集を実施してください。

■ 「7.4.5 ラックサーバ、サーバブレードおよびサーバブレードに搭載された部品」の「■部品交換後の作業」を以下に読み替えてください。

1. 部品交換前に ID ランプを点灯させた場合は、ID ランプを消灯します。
ID ランプの消灯については「7.4.1 ID ランプの点灯／消灯」を参照してください。
2. 交換部品に応じて、作業を実施します。
3. サーバブレードのシステムボードを交換した場合、ServerView Infrastructure Manager サーバのプロファイル再適用が必要です。『FUJITSU Software ServerView Suite ServerView Infrastructure Manager V1.2 ユーザーマニュアル(プロファイル管理機能編)』の[4.9 サーバ保守後操作]を参照してサーバのプロファイル再適用を実施してください。
4. MAC アドレスが変更された場合、ServerView Infrastructure Manager を設定します。
『FUJITSU Software ServerView Suite ServerView Infrastructure Manager V1.2 ユーザーマニュアル(ファシリティ管理機能編)』の[5.1 Facility Manager 画面]を参照し、機器プロパティの編集を実施してください。
5. 「■ 該当サーバの起動」に従って、該当サーバを起動します。
6. 「■ 該当サーバの vSphereHA への組み込み」に従って、保守作業の終了したサーバを vSphereHA へ組み込みます。

■ 「7.4.6 シャーシ」の「■部品交換後の作業」の末尾に以下を追記いたします。

MAC アドレスが変更された場合、ServerView Infrastructure Manager を設定します。
『FUJITSU Software ServerView Suite ServerView Infrastructure Manager V1.2 ユーザーマニュアル(ファシリティ管理機能編)』の[5.1 Facility Manager 画面]を参照し、機器プロパティの編集を実施してください。

(3) 「付録 A システム運用上の留意点」に以下の款を追加いたします。

A.3.13 ソフトウェアを再インストールする場合の注意事項

出荷時にインストールされている以下のソフトウェアについて、再インストールが必要な場合は、本製品に添付されている「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks Enterprise モデル(ブレードサーバタイプ) Documents and Tools DVD」または、弊社 SupportDesk-Web の製品ページに公開されている修正モジュールをインストールしてください。本製品に添付されている ServerView Suite に含まれるバージョンとは異なります。

■「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks Enterprise Model Documents and Tools DVD V1.1」に含まれるソフトウェア

対象ソフトウェア	バージョン
Java 7 update 55	7u55
ServerView Operations Manager	6.31.05
ServerView Virtual IO Manager	3.3.05
ServerView RAID Manager	5.8.5
ServerView Storage Manager	5.0.1.0

■弊社 SupportDesk-Web の製品ページよりダウンロードが必要なソフトウェア

対象ソフトウェア	バージョン
ServerView Infrastructure Manager V1.2.0	1.2.0.a

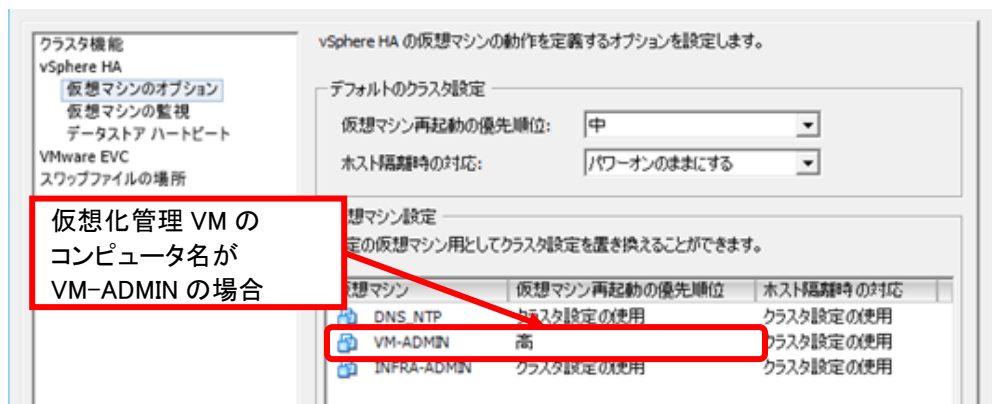
■弊社富士通 Web ページの製品ページよりダウンロードが必要なソフトウェア

対象ソフトウェア	バージョン
ServerView ESXi CIM Provider	7.00.08

2. 「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks Enterprise Model (VMware ブレードサーバタイプ) バックアップ・リストア、サーバ増設ガイド」への修正事項について

(1) 「3.1 仮想化管理 VM のリストア」の手順 27 以降に手順を追加いたします。

28. インフラ管理 VM へログインします。
29. vSphere Client を起動し、VMware vCenter Server (仮想化管理 VM) へログインします。
30. [表示]メニューより、[インベントリ]-[ホストおよびクラスタ]を選択し、[ホストおよびクラスタ]ビューを表示します。
31. ナビゲーションメニューより、[仮想化管理 VM コンピュータ名]-[Datacenter]を選択します。
32. [Management_Cluster]を選択し、右クリックで表示されるメニューから[設定の編集]を選択します。
33. 左のメニュー一覧より[vSphere HA]-[仮想マシンのオプション]を選択します。
34. [仮想マシン設定]から仮想化管理 VM のコンピュータ名を選択し、[仮想マシン再起動の優先順位]の設定を[クラスタ設定の使用]から[高]に変更します。



(2) 「5.13.3. VMware EVC の確認」における手順 1.の文章を訂正いたします。

1.仮想化管理 VM 上で Web ブラウザを起動し、VMware vSphere Web Client にログインします。

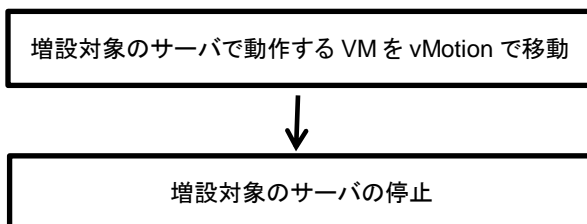
(3) 「5.13.3. VMware EVC の確認」における手順 1.の項目 vCenter Server の IP アドレスに対する設定値の記載を訂正いたします。

項目	設定値
vCenter Server の IP アドレス	FIS_CRB_EnterpriseModel_BladeType_仮想化管理 VM_環境設定書 [ネットワーク設定]シート [ネットワークのプロパティ]-[イーサネット(ネットワークアダプタ1)]-[インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]-[IP アドレス]

11. 「FUJITSU Integrated System Cloud Ready Blocks フィールド増設ガイド」に関する補足事項

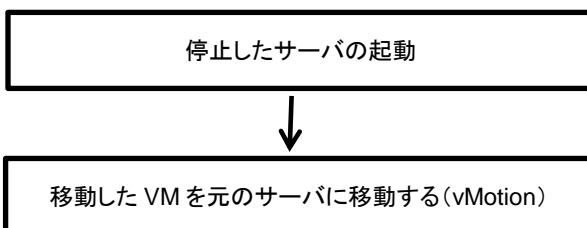
「1.2 サーバのシステムからの切り離し・サーバの停止」に以下の流れ図を追加します。

作業は以下の流れで行います。作業の詳細は『利用ガイド』を参照してください。



「1.4 サーバの起動・サーバのシステムへの組込み」に以下の流れ図を追加します。

作業は以下の流れで行います。作業の詳細は『利用ガイド』を参照してください。



以上